

## A.T. カーニー、ボブ・ウィレンが最高経営責任者に就任

経営コンサルティング会社 A.T. カーニー（東京都港区、日本代表：関灘 茂）は、本日、ボブ・ウィレン(Bob Willen)が、4月末付で同社グローバル最高経営責任者であるマネージングパートナーに就任した旨、ご案内いたします。

2018年5月に就任し、2期6年の任期をつとめたアレックス・リウ（Alex Liu）の後任となります。

ウィレンは、1995年にA.T. カーニーに入社し、2003年に経営陣であるパートナーのひとりに選出されました。25年以上にわたるコンサルティング経験を有し、世界各地の大手企業や政府系クライアントの戦略および組織変革を主導してきました。2015年からは、同社の中東・アフリカ地域の統括責任者をつとめ、それ以前はグローバルで航空宇宙・防衛、自動車、運輸、インフラストラクチャー・プラクティスを率いてきました。



ウィレンは、マネージング・パートナー就任にあたり、次のように述べています

「3つの大陸に住み、働いてきた経験から、世界中のクライアントが直面している課題を理解しており、A.T. カーニーが結果とイノベーションに焦点を当てることで、どのように差別化ができるか身をもって体験してきました。過去5年間の好調な勢いをさらに発展させ、引き続きお客様にインパクトと価値を提供していくために、A.T. カーニーのグローバル最高経営責任者であるマネージングパートナーに選出されたことを誇りに思います。」

過去5年間、A.T. カーニーは一貫して年間2桁の成長を遂げるとともに、次世代のリーダーにふさわしいオーナーシップを重視した会社を築いてきました。前マネージングパートナー、アレックス・リウのリーダーシップの下、同社は戦略的オペレーションと大規模な変革において顧客へのインパクトを高め、戦略的成長分野で Cervello、Prokura、OPTANO、TEAMS Design、Silicon Foundry、MSE の6社の企業を傘下におさめました。

そしてA.T. カーニーはデジタルとアナリティクスの専門的な知見を拡大し、次の大きな技術革新に向けてチームと能力に投資してきました。1926年の創業以来、100年近くにわたり、クライアントのために他社との差別化を図ってきましたが、マネージングパートナーに選出されたボブは、引き続き同社の軌道を牽引していきます。

A.T. カーニー入社以前、ウィレンはゼネラル・ダイナミクス・スペース・システムズ社（現ユナイテッド・ローンチ・アライアンス社）に航空宇宙エンジニアとして従事。

NCAA オールアメリカンおよび全米レベルのサッカー選手として活躍した彼は、バージニア大学ダーデンビジネススクールでMBA、テキサス大学オースティン校で航空宇宙工学の修士号、バージニア大学で物理学の学士号を取得しました。

###

**本件に関するお問合せ先：**

A.T. カーニー 広報

メール：[Japan.PR@kearney.com](mailto:Japan.PR@kearney.com)

---

A.T. カーニー（グローバル・ブランド名は KEARNEY）は、1926 年に米国シカゴで創業、1972 年に日本に進出しました。高度な専門性、目に見える成果の実現、顧客企業との密接な協働作業を最大の強みとし、現在では、世界 41 の国と地域、71 拠点に、約 5,300 名のスタッフとグローバルネットワークを擁しています。あらゆる主要産業分野のグローバル 1,000 社や各国の大手企業や政府系機関等を中心顧客とし、戦略からオペレーション、IT にいたるまで一貫した高品質のサービスを提供しています。日本国内においても金融、通信、ハイテク、自動車、消費財・小売をはじめとする幅広い分野において、顧客への貢献という強い決意のもと活発な活動を行っています

詳しくは Web サイトをご覧ください。[www.jp.kearney.com](http://www.jp.kearney.com)